

書かない×ワンストップ窓口

職員が体験



国は、デジタル技術を活用して、地方の社会課題の解決や魅力向上の変革を実現し、地方を活性化する「デジタル田園都市国家構想」を打ち出しました。

「デジタル技術（D）で、より良い社会へ変革（X）する」という、この考え方が「DX」（デジタル・トランスフォーメーション）です。

本市では、DXを推進するため、令和4年度に、専門的な知識のある外部のデジタルアドバイザーや庁内職員によるデジタル創生研究プロジェクト・チームを設置し、市が抱える課題の解決に向けた研究を行っています。

「書かない×ワンストップ窓口」の実現は、大船渡のDXのはじまりです。3月からスタートしたのは証明書の発行についてが対象ですが、今

もっと先へ おおふなのDX

後、死亡届や転出・転居の届け出など、ワンストップ対象業務を徐々に拡大していく予定です。また、来年度は、LINE公式アカウントの機能を強化するとともに、市のホームページや公共施設予約システムを改修し、LINEを入り口とした「行かない窓口」の実現を目指します。ス

デジタルの力で 心ゆたかな暮らしへ

これからは、大船渡に暮らす市民の皆さんのゆたかな暮らし（ウェルビーイング）の向上と未来に向けた人や環境にやさしいまちづくりを目指す必要があります。

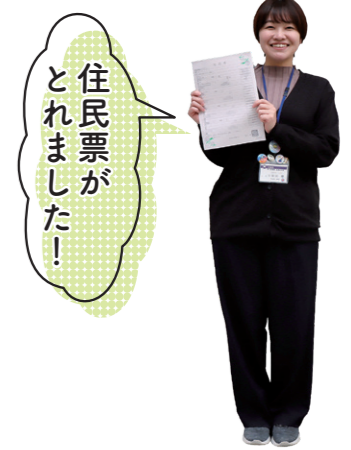
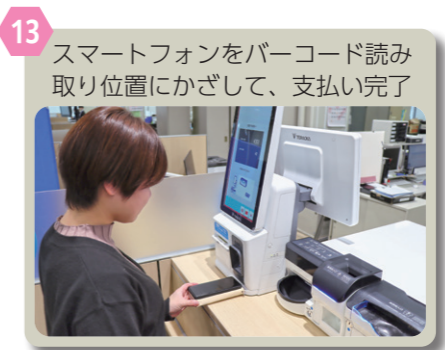
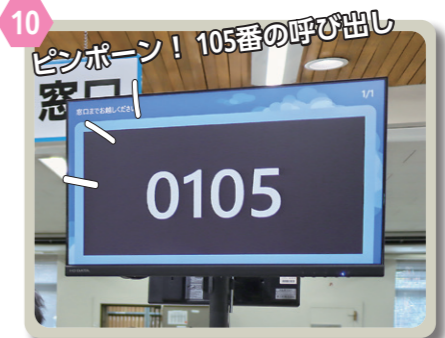
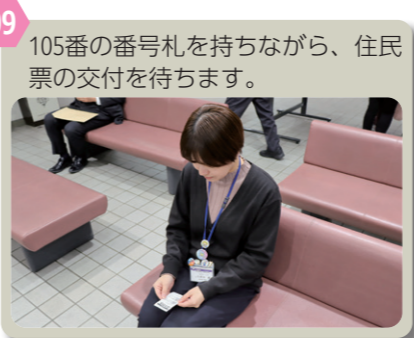
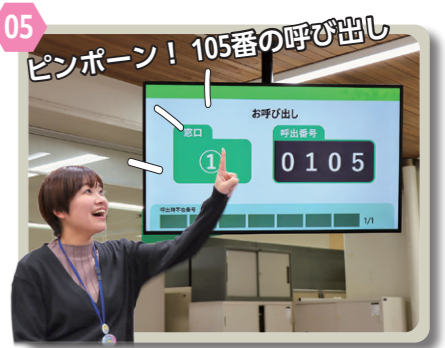
本市では、令和3年度に策定した「大船渡市総合計画2021」に盛り込まれている政策を、デジタルを活用しながら着実に進めるため、本

スマートフォンやタブレットから、簡単に施設の予約ができるように、欲しい情報が欲しいときにとれるように、さらには、市民の皆さんが、道路の損壊状況などを通報できるような仕組みも整備する予定です。

本市では、この窓口改革を皮切りに、行政DX、さらには地域DXを加速させていく方針です。

年2月に「大船渡市デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

人口減少が進む未来にあって、市民の皆さんが今よりもっと暮らしやすく、ずっと心ゆたかな生活を続けていくことのできるまち「大船渡」を目指し、本市はデジタルの力を積極的に生かしてまちづくりを進めます。



基本目標

- 01 大船渡にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- 02 大船渡の魅力を発信し、新しい人の流れをつくる
- 03 大船渡で安心して子どもを産み育てられるようにする
- 04 大船渡で生涯暮らし続けられる地域をつくる

施策

- 1 水産・食産業の競争力強化
 - 2 臨海型産業の誘致による産業集積の推進
 - 3 新産業創出と起業・第二創業支援
 - 4 多様な働き方の推進と地域産業人材の育成
- 1 多様な主体による交流人口の拡大
 - 2 関係人口の拡大と移住・定住の促進
- 1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援と子育てしやすい環境の創出
- 1 協働で誰もが活躍できるまちづくりの推進
 - 2 持続可能なまちづくりの推進

重点分野① デジタル化の推進（市民サービス（行政DX）、子育てDX、産業DXなど）

重点分野② シティプロモーションの推進（移住・定住の促進、関係人口の拡大、ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進、大船渡ブランドの確立など）

大船渡市デジタル田園都市国家構想総合戦略